

## 会 議 録

会議名 (付属機関等名)		令和3年度第1回川西市 PTA あり方検討会	
事務局 (担当課)		教育推進部 教育政策課 (内線3351)	
開催日時		令和3年10月3日(日) 10時から12時	
開催場所		検討会:Web 会議システムによる開催 傍聴席:川西市役所 2階 202会議室	
出席者	委員	野崎構成員、福本構成員、乾 構成員、池内構成員、 古谷構成員、秋葉構成員、川原構成員、小野構成員、 高垣構成員、熊手構成員、若生構成員、小和田構成員 岡田構成員	
	その他	石田教育長	
	事務局	中西教育推進部長、岩脇教育推進部副部長、 的場教育政策課長、池田教育政策課主査、 榎本教育政策課主任	
傍聴の可否予定		可	傍聴者数 5人
傍聴不可・一部不可の 場合は、その理由			
会議次第		1.開会 2.教育長挨拶 3.川西市 PTA あり方検討会について 4.構成員の自己紹介 5.議題 (1)川西市の PTA 活動の現状について (2)課題解決に向けた検討について 6.次回以降の開催について 7.閉会	
会議結果		審議経過の通り	

## 審議経過

<p>事務局</p>	<p>【開会】</p> <p>資料の確認</p> <p>教育長挨拶</p> <p>川西市 PTA あり方検討会について (事務局から資料3「川西市 PTA あり方検討会の設置について」に基づき、検討会の概要や今年度開催する経緯、座長・副座長の選任について、説明)</p> <p>構成員自己紹介</p> <p>議事</p>
<p>座長</p>	<p>議題(1)「川西市の PTA 活動の現状について」事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>(事務局から資料4・5に基づき川西市の PTA 活動の現状や課題について説明)</p>
<p>座長</p>	<p>事務局から中間報告書の内容やアンケートの結果を踏まえた令和元年度以降の PTA の現状と課題について説明があった。</p> <p>こうした現状や課題に加えて、課題に対する改善案や実践事例の情報共有を図り、今後の PTA の活動等を見直す上でのガイドラインのような報告書をまとめ上げることができればと考えている。</p> <p>中間報告のとりまとめから1年が経過したが、この間、各単位 PTA・連合 PTA・自治会・学校園において、PTA に関する考え方や活動の中身について、どのような変化・効果があったか、構成員から情報提供をお願いしたい。</p>
<p>構成員</p>	<p>PTA 連合会では、子どもたちの環境を守るために保護者は何ができるか意見交換を行いたいと考えている。PTA 連合会が行う会議のひとつに常任理事会という会議があるが、その会は報告会のような形で終わっている。できるだけ常任理事の方と情報交換ができるように話し合いの場、座談会の場を設けていきたいと考えている。現在、ホームページを作成</p>

<p>構成員</p>	<p>中であるが、ウェブで伝えられることに時間をかけず、できるだけ話ができる意見交換の場にしたいと思っている。</p> <p>また、各単位 PTA では、PTA の運営自身が非常に難しくなってきたという現状も捉えている。PTA 連合会で HUG(ハグ)という組織を新設した。これは各単位 PTA の役員が困った時に、PTA 連合会に気軽に相談できるよう、各単位 PTA に担当を割り当てている。どんな質問でも気軽にできるように新設した活動である。現在は月 2 件ぐらい、PTA の悩みを伺い、PTA 連合会から回答しているような状況だ。</p> <p>PTA 連合会は委員会活動を廃止した。現在は人権に関する会にだけ、PTA 連合会の役員が出席している。そちらも、PTA の現状を伝えており、今後の対応を話し合っている段階で、理解を得ている状況だ。</p> <p>一昨年に始まった頃と比べ、入会届の統計を 2 年くらいとっている。初めて入会届を取った時はすごく下がると思ったが、2 年間取って 6 割ぐらいなので、ある程度保護者の理解は得られていると感じている。</p> <p>やはりまだ強制的に役員などをさせられるイメージを持っている方が少なからずいるように感じる。入会届を取る頃ぐらいから、委員選出・役員選出はもうほとんどが立候補に変わった。選考委員会などの本当に大変な仕事がなくなったので、楽になった印象だ。</p> <p>PTA 自体はこの 2 年間で、コロナもあったが、仕事内容はほとんどの学校でガラッと変わっているイメージがある。委員選出を廃止し、役員の方も立候補となった。今はコロナもあるので、委員活動は何もできないと考えて、2 年間ほど委員を選出していない。総務役員は過去に経験していた人が立候補で集まったが、既定の人数を満たしていない状態だ。地域の方には参加できる会議・できない会議が出てくることをお知らせして、ご理解をいただいている状況だ。</p> <p>今はコロナで集まりが持たないので、学校に行く回数も減っている。コロナでなくても、学校に行く回数を減らしていかないと PTA はどうにもならないと思っていたので、今年度から皆さんが使い慣れている LINE のオープンチャット機能を使って、ボランティアを募ってみようということで、ボランティア登録をして頂く形で、今準備を進めている。学校からお手伝いが欲しいということがあれば、すぐにそのボランティアの中で募集をかけられるという感じで進めている状態だ。</p> <p>もうじき総務選出の立候補を募る予定だ。今年一緒にやっている人たちがまだ残ってくれるということで、数人は確保できているが、全員が卒業するなどいなくなった時に困ると思うので、次のなり手が出てくるかが今後の一番の課題になると思っている。</p>
------------	--

座長	<p>やはり PTA という名前に対する毛嫌いがあるような気がするので、もう少しフランクに皆さんに接してもらえるように、ボランティアで学校と関わりが持てるという感じで進めていきたいと思っているところだ。これまでもずっと感じていることだが、学校側からとてご理解をいただいているという実感がある。どんな話をしても本当に親身になって学校と協力できたし、川西はありがたいという風に感じている。</p> <p>ボランティア登録のことで、もう少し教えていただきたい。まずそのボランティア登録されている保護者は何割ぐらいいるのかということと、具体的な活動の中身や事例について、こういったことを学校からオーダーがあって取り組まれたかということをお話できる範囲で教えていただきたい。</p>
構成員	<p>オープンチャット使い始めたのは数か月前だが、500名の定数に対し、40名くらい登録をしてもらっている。ただ、コロナの影響で学校側からの要望もあり、まだ具体的な活動はできていない状態だ。もう少ししたら文化的行事の際、立ち当番などをお願いするかもしれないという話を聞いている。</p>
構成員	<p>私の小学校は今年から入会届を導入している。前の総務役員と学校との話し合いで、6年間は1度入れれば「抜けます」と言うまで PTA 会員という形をとっているので、一応毎年は取らないという形で進んでいる。今年度の総務の中では、現在は非会員の人にアピールする機会がないので、来年の4月に「ボランティアならしてもいい」などの項目をつけて、1回お伺いのお手紙を出した方が良いのではという話はしている。委員会活動に関しては、去年も今年も春の選挙はしていない。今後もしない方向で考えている。秋の総務選出に関しては、今年の総務の中の人がいれば残ってくれるということで、来年度に関しては大丈夫だと感じている。また、「立候補しませんか」というご案内の手紙は先日配付した。「立候補ではけど、誰もいなかったらクジを引いてもいい」という項目をつけて毎年出しおり、そこに1年生の保護者が2名くらい印をつけて出してくれたので、座談会などに招待をしてお話をさせてもらいたいと考えている。</p> <p>私の小学校に関しては入会率も88%ぐらいあり、割と協力的な保護者が多いので、スムーズにできていると感じている。今年はIT化を進めたいと思い、コミュニケーションアプリの「バンド」を試験的に導入している。アプリを入れてもらう必要があるため、拒否感が最初にアンケート取った時はあったが、「嫌な人は無理に導入しなくてもいい」という</p>

	<p>ことで案内した。また、印刷回数を減らしたいという目的もあったので、簡単な手紙をアプリに移動し、少しずつ広めていこうと実施している。昨日、今日と運動会があったが、このバンドアプリでオンライン配信をした。昨日が2年4年6年、今日は1年3年5年で実施しており、児童の特定はできないように校長先生と話し合いをしながらオンライン配信をさせてもらった。PTAは先生方からも会費をもらっているの、先生方も忙しいと思うが、可能な限り一緒に活動できたらと考えている。今回は、コロナで子供たちが他の学年がやっているところを見られないので、教室で先生方のタブレットを通じてオンライン配信を見てもらう形をとることができた。私としては教師側と繋がることができてすごく良かったと思っている。今年は音楽会があるので、コロナで運動会と同じようになった場合は、音楽会もそういう形でオンライン配信ができたらいいと思っている。アーカイブにも残るので、その時間帯に仕事している保護者の方もアプリに登録していれば、後で見ることでもでき、とても便利だ。運営委員会のオンライン配信も7月9日に実施した。7月に試して実施し、9月は「google フォームを使って校長先生に聞いてみたいことはありませんか？」という質問を保護者に投げかけて、オンライン配信中もコメントで聞けるという形で実施した。些細なことでも校長先生にダイレクトに質問ができて、校長先生が答えてくださることができたので、保護者に「PTAが何をやっているのか」ということをとてもオープンにできるので、導入して良かったと思っている。また、プリントもファイルでアップできるので、給食のメニューであったり、各学年のお手紙であったりを全てデータ化できる方が便利だと思っている。全てそこで完結できるような形ができるとこの先のPTAの活動としても楽になる。</p> <p>ただそれが嫌な方もいるので、お手紙を配ることも必要だと思う。基本的にはこちらとしても、保護者の方にとっても楽だと考え、試験的に取り組んでいる。</p>
座長	<p>コロナの影響もあり、各家庭のネット環境が良好なものとなってきている。学校としても情報配信は実施したかった取り組みではあるが、個人情報面の面から中々着手できない部分なので、PTAと協力して実施できたというのは素晴らしい事例だと思う。</p>
構成員	<p>今、小学校と中学校の2つの学校に発表していただいたが、他に比べてうまくいっている事例だと思っている。連合会として市内全体で見ると、入会届や任意加入が周知されてから、各校のPTA役員が奮闘しながらなんとか入会届の整備がほぼ完了しているような状態ではある。ただ、ハード面が整備できたから全てOKという訳ではなく、今度はソフト面の</p>

	<p>充実が大切だと考えている。入会届が整備された結果、入会したい人だけが所属して、入会したい人の中から役員が選出されるという方法がとられている。主体的に活動したい人だけが集まっている訳ではないので、積極的な PTA と消極的な PTA との間に差が開いてきたのが現状だと思う。消極的な PTA に対してどのような働きかけが連合としてできるのか、保護者がどういう意識付けで活動していけるのか、ということを経験共有しながら、全市として底上げをしていくことが今の課題だと思っている。そのあたりのアドバイスやご意見をお伺いしたい。</p>
座長	<p>おっしゃっていただいた通り、学校もしくは地域性によってそうした問題が出てくることは想定される。</p>
構成員	<p>消極的な PTA の方の学校だとは思うが、一昨年から入会届をとっており、入会届自体は6割くらいあるものの、ここから立候補をしてくれる方は残念ながら1人もいなかったという現実がある。選考基準に満たした方の中から、もう総務役員だけ選出していくという形で今年度は引き継いでいる。コロナ禍で活動が少ない分、総務の役員と募ったボランティアで活動自体はまかなえているのが現状だと思う。ボランティアとして募った活動自体は、参加して下さる一般の会員や、非会員でも「ボランティアとして参加する」という方はいるが、争点としては、役員が今後出てこないところが、多くの単位 PTA が抱えている悩みであると受け止めている。うまくいっている PTA がどのように募集するなど、うまくできているのかというところを教えていただきたいと思っている。</p>
座長	<p>役員のなり手問題は特に小学校の方が大変だと思う。中学校になると、小学校の経験などでメンバーが決まっていく面がある。小、中学校の現状を聞いたが、幼稚園ではどうか。</p>
構成員	<p>小中学校と幼稚園は違う。ボランティア活動をしたいと思っても、未就学児がいて活動ができない面もあり、なかなかボランティアを募る方も気を使ってしまう。小中学校と違って、人数も減少してきているため、単独で役員が動くのが難しい。その中で、川幼 P で協力してそれぞれの園でどういうことをしているのか話をしたり、保護者会としてどういったやり方をしていたらいいか話し合っていたりしているので、今のご意見を聞いている中では、小中学校の PTA と違いを感じている。幼稚園は幼稚園で別の考えがあり、参考にさせてもらえることは多くあるので、それを取り入れていきたいと思う。</p>

座長	<p>幼稚園の保護者の皆さんは比較的好く園に足を運ばれて、先生方とも日常的にこういった会話が出来るという違いがある。</p>
構成員	<p>お話を聞かせていただいて、小中学校の成功事例を聞かせていただいた。素晴らしい PTA 活動をされていると感心した。地域のコミュニティとしては、コミュニティ連合会の中で、各小学校区のコミュニティの会長に対してこの PTA の問題は投げかけた。その上で PTA 連合会から説明に来ていただいたり、実際に各コミュニティ会長からの意見を直接聞いたりするなどの取組をしている。10 月 13 日に座談会の計画をしていただいているので、そこで今まで以上に突っ込んだ意見が出てくる思っている。ただ、通常 PTA の加入率が 50 ~ 60 % ぐらいと聞いていたが、88 % という数字を叩き出している小学校があるというのは、いい意味で意外性があった。どんな団体でもそうだが、上に立つリーダーの方が上手に引っ張っていかれているのだと強く思った。私もコミュニティの連合会会長として、各地域のコミュニティの会長から理解を得るように頑張っていきたいと感じた。</p>
構成員	<p>川幼 P では会長とよく話させていただいており、幼稚園が頑張っていると思うところを報告したいと思う。</p> <p>前々会長の時に、PTA あり方検討会で加入における同意書や入会届の話が出たことで、川幼 P としてどうすればいいか考えていた。次の会長の時に PTA 連合会が同意書をどういう風に行っているのかを参考にして、どう落とし込んでいくのか川幼 P で考えていた。この PTA あり方検討会の繋がり、野崎座長に相談させていただいたこともある。</p> <p>いよいよ同意書を取るにあたって、当時の各園の会長は、「“会長になりたくないから加入は嫌” ということがあったらどうしよう」ととても心配していた。でも入園説明会等で会長が取り組みについてとても暖かくお話をされたことが保護者には好印象で、同意書などを作成し、その内容について説明することで保護者会活動の取り組みの見える化が早い目にできた。保護者会活動が分かった上で「できそうだな」「加入してみようかな」と思えるように、会長たちが各園で心を込めてお話をされたと感じている。</p> <p>そのことを受け、現在の会長と話をしていただいていたのは、幼稚園は入会届の導入を昨年度から動いたが、全園加入率 100 % という実績になった。子供のために保護者達がどういう風に繋がって、子供の為に何が出来るのか考えようとする親の絆が凄いのことを会長とよく話している。幼稚園の時からこういうつながりの基盤があるので、小学校に上がったときにも絆がずっと続いていくので、大事にしたいと感じている。</p>

座長	<p>入園説明会の段階で PTA 会長が魅力を伝えるという点がある。これは小中学校でも学校説明会やオープンスクールなどで実施可能ないいアイデアだと思う。</p>
構成員	<p>コロナ禍の影響で学校行事、地域行事、PTA 行事はなかなか盛ならない状況だった。ここ 1 年、2 年の中で PTA が変わろうとしていることに対して、学校もそれを受けて変わっていかないといけないと感じている。例えば、今まで愛護部が中心で行っていた見回り活動も、PTA 全員がポイントを決めて立ち番を年に一回するという形にしたり、運動会の自転車並べをここ数年廃止にしたりしている。先ほども話があった PTA からの配布物に関しては、印刷の手間を省略して学校のホームページに載せるような動きもある。総じて PTA 活動という枠組みを取り払って、保護者一人ひとりが前向きに取り組みを進めていくというような形に変化していると思っている。</p> <p>先ほどから加入率の話があったが、現場で実感するのは、「保護者が PTA に魅力を感じない」ということではなく、入会制度を設置した際に、PTA と就労・生活状況を天秤にかけると、その優先順位が生活の方にいつているのだと思う。幼稚園から絆をもって小学校に上がってきても、その時々状況によつて感じる。一方で、PTA についてはスリム化を図っている最中だと実感をしている。そんな過渡期に役員を受けていただいている保護者に対して、学校として些細なことだが、運営委員会等で学校に集まって作業をされる時には、「どうぞ自由に授業参観をしてください」とアナウンスするなど、学校を身近に感じていただきながら共に進んでいきたいと思う。</p>
構成員	<p>素朴な疑問として、あり方検討会の構成員の中に、先生方が非常に少ないと思う。PTA の反対側には先生がいるので、そのウエイトをもっと高めて、PTA がスムーズに活動するにはどうすればいいか、話をした方がいいのではないか。今、先生方の話を聞きますと、「ここで決まったことを学校に持ち帰って」という言い方をされていたと思うが、そうではなく、先生も同じ比率で考えを伝えた方がよい。PTA の反対側にあるのは先生方だと思うので、どうしてこういう構成員名簿になったのか。私たちがいなくても、先生方と PTA の中であり方を決めていただくことが最も望ましいと思っている。</p>
座長	<p>ここでこの疑問に答えるのはなかなか難しいが、この後の議論の中で先生方に伝わる部分があれば良いと考える。また、この間、校長会や教</p>



<p>構成員</p>	<p>頭会で PTA 運営に関する協議を進めていただいております、この検討会での議論も情報共有をしていただいております。</p> <p>この4月に転勤したが、同じ中学校でも学校や地域によって活動の量が違うことが分かる。以前は小学校にも勤務していたが、中学校と比べると、子供の成長段階を含めて PTA の関わりや仕事量も違っていると思う。PTA のあり方についても、前任校では総務役員ができるだけ多くの人数でやっていたが、現任校の場合は総務役員が3名ということで。コロナの影響もあってほぼ活動することがないという状況だ。4月から今までに学校で集まって話をしたのが2、3回あるかどうかというぐらいになっている。</p> <p>そんな中で考えるのは、やはり PTA の存在というのが、学校のお手伝い的なことはもちろんあるのだが、それよりも子供たちを真ん中に据えて、教員と保護者、PTA とが色々な意見交換をすることが大事だと思う。一昔前になるが、私が教員の頃は、ある中学校でも PTA との交流会が非常に多くあった。そういったことが社会の変化とともに無くなってきている。PTA の変化もあるし、学校現場の多忙化の解消という点から削減されており、意思疎通が非常に難しい現状があると感じている。学校運営を考える上で PTA に相談したい時には、月に1回の総務会などで PTA に相談ができるので、そういった機会の確保をこれから考えていかなければいけないと思っている。これは本校の現状なので、他の中学校の方はどうしているのか把握が出来ていないが、今回あり方検討会が再開されるということで、PTA というものを考えた時に、そういうことをまず考えた。</p>
<p>構成員</p>	<p>確かに、今言われたように、PTA 全体で見たら苦戦している学校が実は多い。なぜ苦戦しているかということ、子育て世代と言われる保護者が川西には1万人程いるが、その方々の意見を聞くと、「子供たちのために協力したい。環境を守るためには力を貸したい」という方が多い。</p> <p>でもその前提にある子供たちが社会の皆さんや組織団体とどう関わっているかについて学ぶところがない。今年、PTA 連合会では、「PTA がなぜあるのか」、「川西の教育はどのような方向を目指しているか」、「コミュニティというのは、子供たちのためにこんな協力をしてきていて、こういう関わり合いがある」ということを伝えようとしているが、そこが確立してないがために、皆さんの理解がなかなか得られない、単位 PTA の会長が説得しても分からないからなかなか協力もできないという現状がある。あり方検討会を全市的に意識をもって行っていくのであれば、行政や PTA 連合会で、保護者にその繋がりについて伝えられるような会</p>

<p>座長</p>	<p>や、話し合いができる場を積極的に設けていくことで、より意識の高い、レベルの高い PTA が目指していけると思う。その先には子供たちの環境がもっと良くなっていくという思いでいる。</p> <p>県内では、PTA というより C(コミュニティ)を加えて、PTCA という表現をよく使っているが、今話があったように、家庭を基盤として、その延長線上に地域があって、その延長線上に学校がある、というベースの中で子供たちが育っていくということの中々実感できないのが現状としてあり、それをいかに伝えていくかという話をいただいた。</p> <p>ここで、これまでの話を踏まえて、副座長のご意見を伺いたい。</p>
<p>副座長</p>	<p>この一年でいろんなことが進んでいるということを実感している。色々な質問や懸念が出ているので、今後の議論の参考として、神戸市の例を伝えさせていただきたい。</p> <p>まず、規模が大きすぎたので、神戸市も 2 年前ぐらいから、いわゆる 3 点問題である人権・お金・個人情報の問題について、「これはダメだ」ということを意識して、基本的に PTA は任意団体なので、すべて各校に委ねながらも、2 年前ぐらいから行政が入り、「3 点問題は解決してください。その方向性だけは示します」とした。コロナもあったが、今の神戸市は本当にバラバラの状態だ。中学校が約 80、小学校は約 160 あるが、市の PTA 連合会から今年、小学校で 1/3、中学校で 1/4 抜け、各単位 PTA がバラバラな状態だ。最低限のいわゆる法律にも関わると、3 つの問題は一応クリアしているものの、もし入会率が下がると、根本的な問題であるが、「PTA に入会した保護者としていない保護者をどう差別化したらいいのか、もともと違いがあるのか」という議論が起こる。また市の PTA 連合会や協議会が、ある程度形式的なことしかしてこなかったのも、お金を入れても受益者負担の考え方として、「何か返ってきているものがあるのか」というような様々な議論がそれぞれの単位 PTA で行われているという現状だ。</p> <p>神戸市がこのような状態で、今度この年末から来年にかけて何をしようかとしているかと言うと、ひとつはその保護者の存在意義、「保護者って学校にとって何なんだろうか」という議論をしたいと考えている。それともうひとつ、神戸市は来年度中にコミュニティスクール(CS)を全校必置になる。「コミュニティスクールは地域ともに」とか言うが、「何でもかんでも地域に任せたらいいと思っているのか」という議論や「地域はオールマイティではない」という意見もある。コミュニティスクールも地域主導と言うが、当事者である保護者がしっかりそこに介入しなければならぬのではないかと考える、新たな保護者会像、</p>

	<p>PTA 像みたいなものを作りながら、今バラバラになって混乱している状況を集約していこうというのが神戸の動きだ。</p> <p>先ほどの話でもあったが、PTA が変わるということは、つまり学校が変わることだ。特に小中学校に関しては学校自体を変えていかなければ、PTA を変えるのはそんなに簡単ではない。</p> <p>もうひとつ、学校が行事等で手伝ってもらう仕事とは別に、保護者が当事者として学校運営に参加するという視点が大きな拠り所になっている。神戸ではいろんな学校で、今までにないような学校運営として、保護者が積極的に出した話を取り入れていき、そういうところから保護者の意識を変えていくようにしている。</p> <p>そして先ほども話があったが、保護者にも、手伝ってくれる人とそうでない人がいる。あまり関心を寄せない保護者でも興味関心を抱いていただけるような討議をして、SNS などを通じて、瞬時に広報していくことで心を開けてもらう、そうして PTA を活性化していこうという動きがある。ただ皆さんの意見を聞くと、やはり川西はしっかりまとまっているし、学校によって違いがあって当たり前で、学校の苦しさなどを共有して、うまくいっていないところも、「なぜうまくいっていないか」を考える。保護者は、子供に対する興味関心がどの学校でもあると思うので、保護者が興味関心のある部分をうまくくすぐるようにして、「こうして PTA があるんだ」という部分を出していけば、少なからず向いてくれる人が増えてくると思う。</p>
座長	<p>神戸市でもかなり動きがあるということが分かった。冒頭に「地域で学校との共同が」という話もあったが、本市においてもコミュニティ・スクールが地域学校協働本部事業と併せて、全市展開の予定で進んでいると聞いている。その件についても、PTA との関係も含めて、今後各学校・園において議論・検討課題になると思う。そのことについて、情報提供や補足があればお願いしたい。</p>
構成員	<p>現在、川西市内小中学校において、4 地区すでに導入しているところがある。その中で、小学校と中学校の連携を今進めている状況だ。その4 地区の先進地域の状況を見ながら、昨年度本年度と残りの候補を進めていこうというところだったが、コロナでうまく進んでいないというのが現状だと思う。</p>
座長	<p>神戸市でも動きがあるようだが、コミュニティ・スクールは、地域との協働による学校運営を進めようとする事業で、こうした動きが全国的にあるということは確認していただければと思う。</p>

	<p>それでは一通り発言をいただいたので、議題(2)「課題解決に向けた検討」について話を進めさせていただきたい。今のみなさんの話では、「加入率の問題」「役員選出の問題」「活動の活発なところとそうでないところの差をどう埋めていくか」「先生方との関係づくりをどうしていくのか」「学校運営に関する部分に保護者もしくはPTAがどう関わっていくのか」「学校がボランティア等で依頼したい事業の精選」ということが課題としてでてきた。</p> <p>この後は今私が示した部分、もしくはそれ以外の含めた課題について、「こういった事例がある」「こういった事が出来ればいい」といったことをフリーディスカッションしたいと思う。</p>
<p>構成員</p>	<p>入会率についてだが、連合会のそもそもの考え方として、「入会率が高いから良いPTA活動が出来ている」「入会率が低いから悪いPTA活動になっている」など、入会率でそのPTAのレベルを計っているわけではないというところを皆さんにご理解いただきたい。</p> <p>魅力がないからPTAの入会率が下がっているわけではなく、本当に天稔にかけた時に、やむを得ず入会できないということもあると思うので、そこでPTAの良し悪しを決めるのではなく、会員や役員が楽しく、健全に活動できているか、満足度が高いかというところに重きを置いて、皆さん活動していただきたいと強く言いたい。</p> <p>また非加入という面でいうと、今回の資料の中に教職員の入会率を出していただいているが、実は教職員の入会率がすごく下がっている。もちろん任意団体なので教職員の加入非加入は自由で、個人の意思を尊重するのが本来の形なのだが、この結果を連合会としては少し重く受け止めている。先ほどの話にも出ていたが、PTAは「保護者だけの団体」と思われがちだが、「PとTのアソシエーション」なので、先生も当事者であることを忘れて欲しくないと思う。保護者と先生がそれぞれの立場でできることを別にやっていくのではなく、お互いの力を掛け合わせることで、個々ではできないことをやっていこうというのが、PTAの目的だと私は思っている。そのため、先生方もPTAを理解して、当事者意識をもって一緒に活動していただけるようにしていくことが今の課題だと思っている。</p>
<p>構成員</p>	<p>今話があったように、私もPTAは保護者だけの団体ではなくて、先生や地域の方にとってもお世話になっている現状を、組織の中にいる総務は知っているが、一般の保護者はそれを知らないと思っている。それと同様に、先生方も「なんでPTA入らないといけないのか」という意見</p>

	<p>を直接聞くこともある。「PTA ってなんなのか」ということを、先生にも保護者にも伝わっていないことが1番の原因だと思っている。</p> <p>学校の窓口は教頭先生や校長先生なので、どうしても相談や話をするのはお二方が中心になるの。私たちはどちらかというと積極的に話に行く方のPTAだが、これは各PTAによって違うと思う。私たちは地域の方や先生方とも座談会のように難しい話題ではなく、他愛もない話とかしたりする。そういうコミュニケーションがとても大事で、それが信頼となり、子供達の環境へと繋がっていくと思う。何をするにしても、周りの話を聞いていると、「戦いに行くぞ」という雰囲気があったりとか、「学校は全然話聞いてくれないから」といったことを聞いたりするので、歩み寄りが必要だと思っている。PTAが真ん中に立って、いろんなところと話をしながらまとめていき、「こういうことなんだよ」と保護者に伝えるような形をイメージして私はPTAを運営している。</p>
座長	<p>開かれた学校づくりという点で、学校の困りごとを公開することは難しい問題だ。つまり、学校から「こういう困りごとがある」「保護者としてはどうですか」という部分をどこまでオープンにできるかという課題がある。</p>
構成員	<p>先程もいろいろと話があったように、入会率だけにとらわれてしまうことが本当に怖いことだと実感している。「入会率が高いからその会長がすごい」ではないということを知ってほしい。小中高幼稚園どこも状況は違う。幼稚園は保護者が訪れるので、その分絆も育みやすく理解がある。入会届を取り始めた今から入会された人たちが、小学校、中学校になった時に入会率がどうなっていくかだと思ふ。だから今同じレベルで入会率が高いか低いかは、全く関係がないと私は思っており、その点を強く言わせていただきたい。入会率に拘りすぎるとPTA自体が変な方向性に進んでしまうと思う。そして入会率は何かということ、理科だけではなく、お金を払っているかどうかだと思ふ。</p> <p>今、ボランティア登録をしている非会員の方も、たくさん参加をしてくださっている。それがどういうことか考える必要がある。私のPTAの場合、教職員からお金をもらわないという形にした。非会員ではないが、先生たちは普段から生徒と関わっていただいているのに、その上で会費を払ってもらうことに少し疑問を抱いたので、去年一昨年はお金を取らないという形にした。次からは協力金をお願いするかもしれない。</p> <p>その年々の総務役員を申し出てくれる人たちは、本当に学校に行きたい方だが、特にコロナ禍でコミュニケーションをとりたいとどの保護者も思っている。去年はZOOMがとても便利だと思っていたが、今はZOOM</p>

	<p>会議が嫌だと今年は思ってきている。人と顔を見て話すのはすごく大事なことだと思っている。そういう面では会議がこの先増えていくのはいいと思うが、やはり働いていると参加できない会議がたくさん出てくる。そういう中で振り分けたとしても、総務役員が3人しかいない状況で、こうした事情を地域の方に理解していただきたい。「小学校では役員が5人揃っているじゃないか」という意見もあるが、小学校と中学校で取り方や理解も違うので、同じ地域の中でも違うということ、 「小学校はあなののに中学校はこうなのか」と思うのではなく、別々に考えていただきたいと思う。</p> <p>その年に立候補してくれた人達が、楽しんでやれるような雰囲気作りをして、今後も長く続けてくれる人が何人か残りつつ、新しい人たちも増えていくということが一番理想だと感じている。</p>
<p>構成員</p>	<p>加入率の問題は私が発言したわけだが、一地域の住民としては重要視する数字ではないかと私は思った。ただ、その中で、今 PTA の役員から「実際それだけではなく、PTA の活動が重要なんだ」という発言があり、確かにその通りだと思う。ただ、地域の住民として心配することは、加入した方はお金を払っていて、未加入の方はお金を払ってない。果たしてこれが開かれた PTA になっていくのか、一市民として率直に思った。また、今まで地域に対して「会議が多い。」「そんな時間に行けない」という意見があがった。我々連合会としては、地域の方から声を出すと今までと同じような発言が出ると思うので、逆に PTA の方から日にちを設定して意見交換の場を提案していただいたら、コミュニティ側は時間的に余裕がある方が多いので、希望にそえると思う。</p> <p>やはり1番足りていないのは話し合いだと思う。去年から1年間1回もまだ何の寄合ももてていないような状況なので、何とかこれを打破したいと思う。できたら PTA から日にちを設定して単 P ごとにやっていき、それをまた取り上げられたら良いと思う。</p>
<p>構成員</p>	<p>私は50年間川西に住んでいて思うことは、会議が多い。何かを話し合う時は、会議になる。私としては、その前にフリーディスカッションのようなものがないと、会議でまとまった話ができない。そのプロセスがいつも間違っているのではないかと感じている。なので、今話があったように、フリーディスカッションの場は PTA としても必要だと思っている。そして地域だけでなく、学校ともそうしたいと思う。地域と同じように学校からもフリーディスカッションをしようと言っていたきたい。副座長が「保護者の意見を聞きましょう」とをおっしゃっていたが、川西市民としてもそこが足りていないと思っている。</p>

<p>構成員</p>	<p>今、皆さんが話をされていた通りだと思う。「保護者は学校にとって何？」という問いかけや、学校運営に参画することが本当に大事だと思う。PTAとして行政のあらゆる会議に保護者代表として出席しているが、中には、本当に出席が必要か疑問に感じる内容のものもある。そこは見直しして削減もしていただいているが、今度は逆に「保護者の意見が必要な場に今出席出来ていないのではないか」という意見もあった。</p> <p>例えば、コロナ禍で授業参観や修学旅行などの行事などが中止になったのだが、その中止の決定に保護者の意見が取り入れられてなかったり、夏休みの延長やリモート授業に関する話し合いの場に保護者が出席できていなかったりする事実もある。つまり、削減ばかりではなく、本当に保護者の声を反映して欲しいところに参画させていただく機会も、今後は検討していただきたいと思っている。</p>
<p>構成員</p>	<p>学校と保護者が話をする機会がなかなかないという意見があったが、学校もそれは感じている。一昨年度の3学期からコロナの影響でいろんなことができなくなり、卒業式にしても各家庭1～2名の参加という形になり、令和2年度においても、学級懇談や学年懇談などはほぼできずに終わっている。学校もやはり、保護者とのコミュニケーションが取れない難しさを感じている。学校運営に関しても、いろいろ相談したいことがあるが、PTA総務の状況を考えると、学校から連絡をとりにくい面もある。コロナ禍では急転することが多く、市教委と対応しながら進めているが、なかなかその内容を保護者の方に丁寧に説明する機会が取れていないということも感じている。このことを今後考えながら、保護者とコミュニケーションを取りながら進めていけたらなと思っている。</p>
<p>構成員</p>	<p>幼稚園の加入率100%について、そこに至るまでの詳細をお伝えすると、昔に比べて、今の幼稚園の保護者はほとんどが働いておられる。働きながら役員を「どうしようか」と思われている方がとても多い。そうした中で、昔の幼稚園の保護者会活動より大分削減した。逆に必要なものは残している。例えば、「子供たちの親睦会のためお別れ会はある」「先生だけではなかなか終わらない草抜きをお助け出来ないか」「大掃除で網戸洗いをお手伝いしようか」といったご意見、お声がけをいただくことが多い。幼稚園が学校と何が違うかというと、毎日送り迎えで顔を合せているので、先生と保護者で話をすることができる。そういった会話をしながら、無理な活動はやめる、必要なものは残すなどしていく工夫の中で、加入率100%に繋がったのではないかなと思う。幼稚園は昔と違</p>

副座長	<p>うので、「できるところはボランティアでやろう」というような見直し が川幼Pや単位PTAで改革がされている。</p> <p>コミュニティスクールの話も出ていたが、幼稚園も久代幼稚園がモデル 園で活動されている。私も本園の中学校区内で取り組んでいる小学校 の委員として参加をしているので、またそのあたりの情報もお伝えでき ればと思う。</p> <p>ではまとめの時間なので、これからの情報提供としてポイントをお話 しさせていただく。ひとつ目、加入率については、話に出ていた通りで、 逆に加入できない人たちへの配慮が必要だと思う。学校運営の立場で言 うと、「加入できません」と出された保護者のことがとても気になる。</p> <p>その中で、神戸の取組で斬新だと思った事例がある。それは、「PTAで はなく保護者会に変える」という取組だ。PTAをやめたから保護者会とい う訳ではないが、入会と同時に全員加入してもらい、会費はとらず、強 制する仕事もしない、前提は「子供をその学校に通わせている保護者の 塊」ということ。コミュニティスクールが法的な根拠を持っているので、 「コミュニティスクールに出す保護者代表を決める保護者会」という位 置づけで、全員が加入する。やる仕事としては、学校運営に関して保護 者から代表を出して、様々な意見をSNSなどで集めて、学校と意見交換 をし合って、その内容を広めていくシンプルな形。それが保護者会の真 ん中になっている。必要な時は全員にボランティア募集をかける。「保 護者会だからPTAではない」のではなくこれもPTAである。</p> <p>また、先ほど教員の話がでたが、このコロナ禍において、教員として もどうしていくのか保護者に聞くのが一番楽だ。私の学校では、保護者 の意見で学校運営をしているようなものだ。例えば、登校する時の服装、 体操服を着たり日傘を差したりもしている。今年では、靴とか靴下の指 定も自由にしたり、夏休みの宿題にある作品展をやめたり、どんどん動 かしている。動かせるものは動かす。これも全部保護者の意見。子供た ちにも家で話し合いをしてもらう。学年主任は、何をするにしても保護 者の意見を聞いている。「放課後に学習会をしたい」ということも相談 して進めている。これが一番正解に近いし分かりやすい。ひと昔前は、 教員のプライドなどで難しい面もあったが、一度その関係ができると、 困難な時代だからこそやりやすさがある。「保護者がそういった仕事を することが保護者会・PTAだ」となればとてもシンプルになっていく。</p> <p>ただ、そこに行きつくまでは心配なこともあるし、簡単ではないこと もあるが、その坂を超えてしまうと良くなると思う。私が今勤めている 中学校でも、この秋から話し合いが始まって、おそらくPTAのまま保護 者会に移行して行くような話になっている。明後日には体育会をするが、</p>
-----	---



<p>座長</p>	<p>これも急遽決まった。これも保護者と綿密に連携しているからできたこと。割とシンプルにできている。こうした保護者会という形で取り組んでいるところもあるということを情報提供させていただく。</p> <p>学校が保護者とフラットな関係で、いろいろなものを作りながらも子どもを育てている事例であった。</p> <p>それでは、ここで本日の協議は終了させていただく。あと2回予定されているので、そこに向けて引き続き、各職場や組織でご検討される事をお願いします。私の議事進行は以上とする。この後は事務局より進行をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>次回以降の開催について</p> <p><b>【閉会】</b></p>